

CMS等機能要件表

別紙2

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考	
記入要領	可否欄に以下のいずれかを記入すること。 :標準機能で対応可能 :代替案(カスタマイズ含む)で対応可能。 (備考欄に、具体的な方法または詳細資料の記載箇所について記入すること。記入がない場合は、対応不可とみなす) x:対応不可					
基本要件	CMS一般	1	本市と同等の人口規模以上の地方公共団体において導入実績があるCMSパッケージであること。			
		2	CMSパッケージは最新の技術動向やシステム利用者の要望等を反映して、追加費用なしに定期的に機能が向上すること。			
		3	市ホームページの全てのコンテンツはCMSによる管理とすること。(HTMLソースファイル等を直接編集させるなど、CMS以外での編集が不要であること)			
		4	端末台数、ユーザ数、ページ数およびテンプレート数その他一切のCMS管理コンテンツ数について上限が存在しないこと。また、数量の増加により費用が変動しないこと。			
		5	市ホームページの更新は、少なくとも1時間に1回の頻度で更新できること。更新中であっても、CMSによるページ作成等の作業を実施できること。			
		6	CMSを利用するにあたり、本市のクライアント環境に特別なソフトウェアをインストールすることなくブラウザで利用できること。本市のOS/ブラウザは、Windows7/Internet Explorer11である。なお、運用期間中に環境を変更する可能性がある。その場合でもCMSを利用可能とすること。			
		7	CMS操作に対する応答について、応答時間は3秒以内を実現すること。なお、50名程度の同時利用を想定している。			
		8	パソコン向けページを作成・更新すれば、パソコン、スマートフォン、タブレットおよび携帯電話等の環境にも対応したページが自動的に生成されること。			
		9	ページは、トップページを頂点とする階層構造で管理できるものとし、階層数の上限や階層の深さに起因する機能制限等を一切設けないこと。			
		10	トップページを含む全てのページはテンプレートから生成されるものとし、ユーザが自身の管理するページを編集できること。ただし、自動生成されるページは除く。			
市ホームページ一般	市ホームページ一般	11	閲覧者の利用機器に影響されることなく市ホームページを閲覧できること。対応ブラウザは、Internet Explorer、Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safariの最新版(平成29年4月1日時点)以降のバージョンとし、各ブラウザで表示の乱れがないようにすること。なお、今後新規のブラウザで利用者が増加したものについても可能な限り同様の対応をすること。			
		12	閲覧者のアクセスに対する応答について、閲覧者のブラウザに表示されるまでの時間を2秒以内(通常時)を実現すること。ただし、県クラウドにボトルネックがある場合を除く。			
CMS一般機能	ユーザ	13	ユーザIDとパスワードによるログイン認証が可能であること。			
		14	複数の端末から、同一ユーザIDで同時にログイン可能であること。			
		15	ユーザID個別の権限に応じた操作画面が表示されること。なお、本市が利用するユーザは作成者、承認者、管理者の3種を想定している。			
		16	ユーザをグループ化して管理できること。			
	承認	承認	17	作成者から公開権限を持ったユーザまでの承認ルートは、少なくとも2段階～3段階の間で柔軟に設定できること。		
			18	カテゴリ毎に異なった承認ルートを設定することができること。		

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考
		19	承認申請後、承認者による差し戻しおよび作成者による引きもどしができること。		
		20	承認申請時および差し戻し時にメールを送信することができ、かつ任意のコメントを付記できること。		
		21	ユーザは、自ユーザグループのコンテンツの作成状況・承認状況を一覧形式で確認できること。なお、ユーザグループは原課毎の作成者と承認者で構成されることを想定している。		
	編集	22	サイトツリーおよび自身の管理ページ一覧から、編集したいページに移動できること。		
		23	編集作業の途中で保存できること。再ログイン後、保存した状態から作業を再開できること。		
		24	自由入力可能なエディタ、プルダウン選択、チェックボックス等の入力枠により構成されるテンプレート方式により、HTMLに関する知識に影響されることなく容易に統一感のあるページを作成できること。		
		25	テンプレートは、固定項目のみ入力可能な方式、および標準的な項目セットを何度でも繰り返し入力可能な方式が利用できること。なお、ページの目的に応じて十分なパターン数が用意されていること。		
		26	上記のテンプレート方式以外に、あらかじめ用意された入力部品を自由な順序で組み合わせて利用する方式にて、より柔軟な表現でページを作成できること。(入力部品は少なくとも、No.26～54の機能を想定している)		
		27	入力項目には、必須かどうかの設定や入力規則の設定をすることができ、条件に違反している場合は承認申請ができないこと。		
		28	入力項目をプルダウン等の選択肢から入力させるときは、直接のテキスト入力を許可するかどうかを設定できること。		
		29	日付の入力項目はカレンダーから選択できること。		
		30	自由入力可能なエディタは、Microsoft Word等のオフィスソフトと同様のツールバーを備えおり、ボタン・メニュー等から様々な表現を設定できること。ただし、許可したHTMLタグおよびスタイルのみを使用可能にできること。		
		31	自由入力可能なエディタは、表を新規作成し、行列の追加・削除、見出し設定等の詳細な編集ができること。		
		32	自由入力可能なエディタは、Microsoft Word・Excelデータからのコピー＆ペーストが可能であること。その際、表形式データはHTMLテーブルで正しく表現されること。ただし、許可していないHTMLタグ・スタイル等は自動的に除去されること。		
		33	自由入力可能なエディタは、Microsoft Word・Excelデータからのコピー＆ペーストした内容を再編集できること。		
		34	HTMLソースの直接編集は管理者のみに制限可能であること。		
		35	全ての操作画面から、本市向けに作成された専用マニュアルを閲覧できること。		
	画像	36	画像はページ内の任意の場所にいくつでも表示でき、左右位置、テキストのまわり込み等の柔軟な設定ができること。		
		37	掲載する画像ファイルの種類・容量およびファイル名に使用する文字を制限できること。		
		38	あらかじめ指定された大きさ以上の画像は、登録時に自動的にリサイズされるように設定できること。また、画像をCMSに登録した後、CMS内でトリミング・リサイズ等の加工ができること。		

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考
添付ファイル		39	添付ファイルはページ内の任意の場所にいくつでも掲載でき、掲載位置には、ファイル種類に応じたアイコン、ファイル容量を自動で表示すること。		
		40	掲載する添付ファイルの種類・容量およびファイル名に使用する文字を制限できること。		
		41	添付ファイルを掲載したページには、閲覧方法と推奨するソフトウェアのダウンロードリンクを自動で表示すること。		
		42	添付ファイルは標準でページ毎に異なる専用のディレクトリに格納され、CMS上でページを削除した場合は同時に添付ファイルも削除されること。(画像ファイルも同様とする)		
		43	添付ファイルは、オープンデータにするかどうか選択可能とし、オープンデータにする場合は設定項目(説明文、ライセンス、データ時点等のメタデータ)を編集できること。		
内部リンク		44	内部リンクはページ内の任意の場所にいくつでも表示でき、サイトツリーからの選択またはページIDの指定をすることにより、URLやリンクテキストの入力無しでリンク設定できること。また、公開前(未承認)のページに対してリンク設定できること。		
		45	テキストリンクではなく画像によるリンクの設定もできること。画像はリンク設定時に登録できること。		
		46	ページの配置場所やタイトルが変更された場合、ページが公開開始または終了した場合等、内部リンクに関わる変更があった場合には、該当する全ての箇所についてリンクが自動的に修正・生成・削除等されること。		
		47	当該ページに内部リンクしているページの一覧を極めて少ない操作で表示できること。(いわゆる被リンクチェック)		
外部リンク		48	外部リンクはページ内の任意の場所にいくつでも表示でき、リンク設定時に入力した文言と、あらかじめ指定した文言を自動的に組み合わせたリンクテキストを表示できること。		
		49	テキストリンクではなく画像によるリンクの設定もできること。画像はリンク設定時に登録できること。		
		50	リンク先ページを表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。		
		51	リンク切れチェックが定期的に自動実施され、該当箇所にリンク切れである旨の警告が表示されること。また、該当箇所(または該当ページ)の一覧を表示できること。		
表		52	各セル内に、テキスト、画像、添付ファイル、内部リンク、外部リンクのいずれかを設定できる表を作成できること。設定方法・機能は、少なくともNo.35～49と同様のものを実現すること。この表は、Microsoft Word・Excelデータからのコピー＆ペーストには対応しなくてもよい。		
		53	表をCSV形式のファイルに変換するとともに、オープンデータにするかどうか選択可能とし、オープンデータにする場合は設定項目(説明文、ライセンス、データ時点等のメタデータ)を編集できること。		
動画		54	動画はページ内の任意の場所にいくつでも埋め込んで表示でき、Youtube、Facebook等を利用した動画を専門知識を要さないで設定できること。		
地図		55	地図情報はページ内の任意の場所にいくつでも埋め込んで表示でき、地図上の指定した位置にマーカーを表示できること。なお、地図情報はGoogleMap等を用いてよい。		
		56	マーカー表示は、登録された施設一覧からの選択や住所を入力することで、簡単に地図上の表示位置を指定できること。また、指定したマーカーの位置を、地図上での操作および緯度・経度の指定により調整できること。		
入力補正		57	あらかじめ登録された禁止文字が入力された場合、代替文字に自動置換できること。禁止文字は管理者のみが登録できること。また、自動修正ではなく警告表示にすることができること。(文言毎に設定可能とすること)		

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考
プレビュー		58	編集作業中、いつでもページの出来上がりをプレビューでき、かつ編集作業をすぐに再開できること。		
		59	プレビューしたページから、内部リンクを辿って別のページのプレビューへ移動できること。外部リンクの場合はリンク先の表示確認ができること。		
		60	プレビューしたページは、A4サイズ縦方向で内容が損なわれることなく印刷できること。特定のページを除き、ヘッダ・フッタ等の不要とする部分は印刷対象にしないこと。		
		61	任意の未来日時を指定して、その時点の市ホームページ全体をプレビューできること。		
		62	全てのプレビューは、PC版だけでなく、スマートフォン版や携帯電話版等マルチデバイスを想定した表示確認ができること。		
		63	アクセシビリティや見出しの順序等に問題がある箇所について、警告と修正方法を表示し、プレビュー(または編集画面)で視覚的にその位置を確認できること。		
公開設定		64	ページの公開開始・終了日時を設定することで、自動的にページの公開・非公開を切替できること。また、公開開始・終了日時は設定しないことも可能なこと。		
		65	公開中のページを編集・承認して待機状態にし、未来の更新日時を指定して自動更新できること。		
		66	公開開始日時(または更新日時)を指定しないページは、即時公開(または即時更新)を標準設定とすること。		
		67	ページが非公開になった場合は、そのHTMLファイルだけでなく付属する画像ファイルや添付ファイル等もあわせて公開サーバ上から自動削除すること。		
		68	ページ作成時にURLが初期設定され、公開前に把握できること。		
自動挿入		69	ページの作成者情報(課名・住所・電話・問合せフォーム等)が、あらかじめ指定された位置に自動挿入されること。挿入される情報は、ログインユーザ毎に設定された組織情報に基づいて自動設定され、また登録された情報の一覧から任意に選択して設定することもできること。		
		70	ページの最終更新日が、あらかじめ指定された位置に自動挿入されること。最終更新日には、公開開始日時または更新日時を指定したときはその日付、指定しなかったときは承認された日付が自動設定されること。また、カレンダーから任意の日付を選んで設定することもできること。		
新着情報		71	ページの編集時に、指定するページ(トップページ、カテゴリトップページ等)への新着情報の掲載有無を設定でき、ページ公開時に自動で掲載されること。ただし、編集の初期状態は掲載無の設定であること。		
		72	新着情報への掲載文言は編集時に設定することができるものとし、掲載時には最終更新日(No.68のもの)を自動的に付記すること。また、各ページの新着情報欄の掲載順序はその日付の降順とすること。		
		73	トップページの新着情報は少なくとも3つ以上に分類可能とし、タブ等で切り替えて表示できること。		
		74	各ページの新着情報欄は、上限数を設けて掲載するほか、新着情報の一覧ページも自動生成できること。また、一覧ページに対応する内容で、RSSフォーマットのファイルを自動生成できること。		
		75	トップページの新着情報に対応する新着一覧ページは、分類毎にそれぞれ自動生成できること。RSSも同様とすること。		
		76	新着情報は、CMSで管理していない任意のページへのリンクを掲載することもできること。		

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考
	ナビゲーション・カテゴリ	77	各ページのタイトル・配置カテゴリ・公開状況等に応じたパンくずリストが、ページの指定位置に自動表示されること。また、ローカルナビゲーションも同様とする。		
		78	各ページは本来のカテゴリとは別に、複数のカテゴリに配置できること。配置は、当該ページの編集画面および設定項目等において、サイトツリー等から選択して配置できること。ページ複製による配置ではないこと。		
		79	市ホームページ全体のページタイトル・配置カテゴリ・公開状況等に応じたサイトマップページを自動生成できること。		
	ページ管理	80	既存ページをコピーして、新規ページの作成・編集ができること		
		81	公開中のページを編集する際は、公開ページの内容等に一切の影響を与えることなく、編集が可能であること。		
		82	同じページを複数回更新して公開する場合、以前の公開ページをバージョン管理(世代管理)できること。また、以前のバージョン一覧から選択して再利用できること。		
		83	同じページを複数回更新して公開する場合、ページを承認する前に、直近のバージョンからの変更箇所を視覚的に確認できること。		
		84	ページ削除後、あらかじめ指定した期間中は保持しておく「ごみ箱機能」を備えること。		
		85	各ページは、その所有者であるユーザ(グループ)にしか編集・削除等の権限がないこと。		
		86	ページの所有者は、管理者だけが変更できること。変更の適用日を指定することもできること。		
87		各カテゴリ毎に、ページを配置できるユーザを制限する(または制限しない)ことができること。			
88		ユーザは、管理するページを権限のある別のカテゴリに配置変更できること。変更は、サイトツリー等から選択して配置できること。			
	CMS内検索	89	ページID、タイトル、カテゴリ、ユーザ(グループ)、ワークフローの状況、公開状態、最終更新の日付範囲、キーワード等の複数条件を組み合わせて、ページの検索・絞り込みを行い、目的とするページへ移動できること。また、検索結果の並び替えができること。		
CMS管理機能	テンプレート作成	90	定型的なテンプレート(または部品)として、あらかじめ入力項目名と入力方法・書式が定められた各項目に情報を入力(または選択)するだけでページが作成できること。		
		91	定型的なテンプレート(または部品)から生成されたページについて、各ページの特定項目の情報を自動集約して、一覧表・リンク集等に整形した別のページを自動生成できること。		
		92	全てのテンプレートは、データ(HTML)と表示スタイル(CSS)を分離して設計し、市ホームページ全体で統一されたデザインを維持できること。		
		93	テンプレートが変更された場合は、影響する全てのページが自動的に更新されること。		
		94	テンプレートから自動生成されるHTML等のコードについて、一切のアクセシビリティ上の問題が生じないこと。(ユーザが入力した内容そのものに問題がある場合を除く)		
	ユーザ管理	95	ユーザID・パスワード・名称等の管理(追加・変更・削除等)は操作画面の他、CSVファイル等のエクスポート・インポートにより管理できること。		
		96	ユーザID・パスワード・名称等の管理・変更は、ユーザ毎に適用日を指定することもできること。		

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考
		97	ユーザの組織情報の管理は操作画面の他、CSVファイル等のエクスポート・インポートにより管理できること。		
		98	ユーザの組織情報の管理は、ユーザ毎に適用日を指定することもできること。		
	その他管理者向け	99	ログイン画面上にメッセージを掲載できること。		
	100	メンテナンスモードに設定することにより、管理者以外のログインを一時的に制限できること。			
	101	CMSに登録されている全ページの情報(ページID、ページタイトル、カテゴリ等)をCSVファイル等に出力できること。			
	102	ユーザのログイン履歴・操作履歴を確認でき、CSVファイル等に出力できること。			
CMSアンケート作成機能	アンケート一般	103	SSL等の暗号化通信に対応したアンケートフォームを、ユーザがCMSで容易に作成できること。作成するユーザを限定することもできること。		
		104	各設問は様々な方式(回答必須かどうか、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、自由入力、入力文字数制限等)を自由に設定でき、また条件によって設問を分岐することができること。		
		105	アンケートの各画面(入力画面、内容確認画面、回答送信後画面等)において、説明文、画像、添付ファイル、リンク等を自由に編集できること。		
		106	回答受付後の処理について、アンケート作成者へのメール送信有無、回答者への受付完了メールの送信有無、回答データのシステム蓄積有無等をアンケート毎に設定できること。		
		107	公開開始・終了日時を設定することで、自動的に公開・非公開を切替できること。また、公開開始・終了日時は設定しないことも可能なこと。		
		108	集計結果は回答受付中および受付終了後のいつでもCSVファイル等で取得できる他、自動でグラフ(棒グラフ・円グラフ等)画像が生成できること。なお、集計結果を削除した場合は除く。		
		109	集計結果へのアクセスは、アンケート作成者および指定したユーザのみ可能とすること。また、集計結果を削除するまで、アクセス記録を保持すること。		
	問い合わせ	110	アンケート作成機能を用いて、ホームページ閲覧者からの問い合わせを受け付けるためのフォームを設置できること。問い合わせフォームは、各ページ用および市全体用について、それぞれ異なる設問内容等で作成できること。		
		111	各ページ用の問い合わせフォームから問い合わせがあった場合、問い合わせ内容の確認時に問い合わせ元ページのURL(またはページIDとタイトル)を識別できること。		
	職員採用	112	アンケート作成機能を用いて、本市の職員採用試験のWeb申込みを受け付けるためのフォームを設置できること。職員採用申込みフォームは、職種毎に異なるフォームおよび設問内容等で作成できること。		
113		職員採用申込みフォームは受付時に、フォーム毎に異なる記号と受付連番を組み合わせた一意の番号を割り振ること。また、入力された情報および一意の番号に基づいた内容で、申込者に受付確認メール送付できること。			
114		入力された情報および一意の番号に基づいた所定様式の電子帳票(PDFファイル等)を生成し、受付確認メールに添付できること。			
その他の機能	緊急情報	115	緊急情報として、ページを即時公開できる権限を特定のユーザに付与できること。		
	トップページ	116	緊急情報ページが公開されたとき、トップページの緊急情報欄に自動的にそのページへのリンクが表示されること(通常は緊急情報欄そのものを非常時とする)。		

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考
		117	大規模災害時には、あらかじめ用意した緊急時専用トップページに管理者が極めて少ない操作で切替できること。		
		118	ページが表示される毎に、あらかじめ登録された画像リンクの中からランダムに抽出して表示できること。(バナー広告や関連サイトを想定) なお、ランダム抽出の対象としないものを指定できること。		
		119	バナー広告はあらかじめ掲載期間を予約設定することができ、設定した期間のみトップページに掲載されること。(掲載漏れ・削除漏れの防止)。		
	サブサイト	120	市ホームページドメイン内のサブフォルダとして配置し、URLを自由に設定できること。なお、CMSで管理しないコンテンツも同様とする。		
	サイト内検索	121	全てのページから、市ホームページ全体を全文検索することができ、検索結果を市ホームページ本体と同じ体裁のページで表示できること。なお、表記のゆれに自動的に対応する機能を有すること。		
		122	サブドメイン・別サーバで運用している別のウェブサイトを対象に含めて検索できること。(http://faq.city.amagasaki.hyogo.jp/等を想定している)		
	自動翻訳	123	ページの内容を自動的に翻訳する機能を、全てのページから利用できること。なお、少なくとも英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、韓国語の4カ国以上の言語に対応すること。		
	文字サイズ・背景色	124	ページの文字サイズ・背景色を変更する機能を、全てのページから利用できること。		
	イベントカレンダー	125	月・週単位での一覧表示の他、分野・施設・実施期間等で絞り込んで表示できること。		
		126	ページ編集時にイベントカレンダーへの掲載有無を設定でき、ページ公開時に自動的に掲載されること。 掲載日付はカレンダーから選択して入力できるものとし、単独の開催日、開催期間および複数の開催日等の様々な日付入力を可能とすること。		
		127	ページ編集時に、開催日または開催期間または複数日開催、事前申込の有無、申込締切日等を設定することで、設定内容と現在日付に応じてイベントカレンダーの表示が自動的に更新されること。(開催期間の表示、募集終了の表示など)		
		128	イベントカレンダーの内容がCSV形式で一覧出力され、毎日オープンデータカタログのデータセット(詳細ページ)として更新されること。		
	施設マップ	129	地図上にマーカーを表示し、分類で絞り込んで施設を探せること。なお、地図はGoogleMap等を用いて、マウス等による拡大・縮小・移動、およびテキスト入力による住所検索ができること。		
		130	分類毎の一覧表から、施設を探せること。分類は大・小2段階で設定できること。		
		131	施設詳細ページを作成することにより、地図および分類の両方から探せるように自動的に登録されること。なお、施設詳細ページに設定する内容は、施設の種類に応じて項目名称や項目数を柔軟に変更できること。		
		132	地図上のマーカーをマウスでクリックすると、施設概要および施設詳細ページへのリンクを吹き出し表示できること。		
		133	施設詳細の内容がCSV形式で一覧出力され、毎日オープンデータカタログのデータセット(詳細ページ)として更新されること。		
	オープンデータカタログ	134	分野・ファイル種別・ライセンス等で検索または絞り込みして、一覧表示できること。		

大項目	小項目	No.	要件	可否	備考
		135	ページ編集時、オープンデータとされた添付ファイルまたは表のCSVファイルがある場合、別にオープンデータカタログのデータセット(詳細ページ)を自動作成し、オープンデータカタログで検索できるようにすること。データセットには、当該オープンデータに関するメタデータの他、出典元ページへのリンクを表示すること。		
		136	データセット(詳細ページ)を直接作成できること。(出典元の市ホームページは存在しないがオープンデータとしての公開が必要、というケースを想定している)		
	アクセス解析	137	ページ毎のアクセス数、添付ファイルのアクセス数、キーワード検索数、ユニークユーザ数等を解析できること。また、閲覧者のブラウザ・OS・デバイス等が解析できること。		
		138	庁内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して、解析できること。		
		139	時間・日・週・月等の単位で解析できること。また、解析結果をCSVファイル等に出力できること。		
		140	閲覧者の動線を分析できること。		
	HTTPS対応	141	すべてのコンテンツをHTTPS通信で表示できること。また、HTTPリソースが混在する旨のブラウザからの警告が出ないようにすること。		
		142	HTTP通信でアクセスがあった場合は、HTTPS通信となるようにリダイレクトできること。		
	エラー対策	143	存在しないコンテンツへのアクセスがあった場合、案内ページを表示すること。		

以上